

# 「愛・地球博」の三ヶ月

名古屋市長

太田四郎（本町五丁目出身）

愛知万博「愛・地球博」は三月二十五日開幕、九月二十五日まで六ヶ月間の会期ですが、その半分を過ぎて、約一千万人の入場者があり、目標の千五百万人をはるかに上廻るのではないかと期待されています。

一部報道によれば、BIE（博覧会国際事務局）の最近のバリ総会で、「愛知万博は二十一世紀初の万博として、万博の新しい在り方の姿を提示し、万博の前進的な意義を改めて世界に発信した」と、愛知万博は大変成功していると称賛したと伝えられています。

この万博の新しい在り方とは、会場の建設整備運営のすべてにわたって環境に配慮していることや、国や企業が主体の従来とことなり第三の原動力として国内外のNGO（非政府組織）やNPO（非

営利組織）など市民参加をうたっていることだそう。

会場では毎日いろいろな催しが各所で行われていますが、二、三あげてみます。

## （一）ナショナルデーと万博外交

今回の万博では過去最大の百二十一ヶ国が参加してパビリオンに出展しているが、国連デー以外に各国のナショナルデーが百十回セットされています。その時にその国の大統領や首相、閣僚級が会場を訪れ、其々外交の場として利用され万博外交と云われています。また、万博に展示されている日本の最新技術、たとえば燃料電池や無人走行車、ロボット等に深い関心をよせ、トヨタなどの工場を訪れる外国主脳も多いとのこと。

## （二）都道府県の日

各都道府県主催で設定されており、それぞれ産業、文化、観光、芸能等がPRされます。「新潟県の日」は六月二十三日（水）県知事はじめ観光協会など来場され、元気で舞います。新潟フェスティバル」がEXPOドームで開かれ、中越大地震復興支援への御礼と県民の心意気を表し、約二千人が来場して満員の盛況でした。Jリーグ「アルビレックス新潟のチアリーダーや米国際大会優勝の新潟中央高校ダンス部の凱旋公演があり、最後は全員で佐渡おけさを躍って幕、大人気でした。



「新潟県の日」新潟中央高校のダンス部 凱旋公演

（三）愛・地球博ふるさと大県人会まつり  
九月三日（土）四日（日）に日本広場で名古屋地区の全国各県人会が主催し、ふるさとのおんりーわん・ナンパーワンをまつりのステージや各県のブースで紹介し、ニッポンのふるさと温かさ、魅力を世界にアツピールすることとしています。

何回か万博へ行ってみて気に入っている処はグロバルループです。万博の長久手会場はもともと「青少年公園」と云う公園でして、十三の池・四十米の高低差や緑地もそのまま残し、各パビリオンもキャンプ場や駐車場などがあつた場所に建設し、その間を空中回廊で結び、会期後はまた公園に戻ることになっています。この空中回廊がグロバルループと呼ばれ、巾二十一米、長さ二千六百米で、間



伐材を利用して床張りされています。来場者は空中をそして緑の中を歩いているような感覚を味わえるばかりでなく、世界の各国のパビリオンをつなぐループを歩いて世界一周して各国と国際交流ができ、また日本に居ながらにして各国情緒を体感できる楽しみがあります。



グローバルループ (空中回廊)

今回は、企業パビリオンが比較的少なくて十くらいしかありませんが、来場者の人気は依然としてこれに集中しており、特に昼間は長時間待ちになっているようです。

会場は夜十時までやってますので、夏の夜を涼み乍らおいでいただきゆつくりと内外のパビリオンや催しをみられるのもよいかと存じます。

開幕当初いろいろと問題になった弁当持込みについてはおかげ様で解決されました、マンモスの見学も改善され、また雨や日照、猛暑対策などの施設対策も逐次整備され御来場の皆様を快適にお迎えできるように運営されていますので是非またお出掛け下さい。

そして、愛・地球博のテーマ「自然の叡智」の「自然」と云う言葉がテーマになったのは万博始まって以来、初めてのことだそうです。自然のすばらしさと厳しさを感じとっていただければ幸いです。



四カ国語を話す接客ロボット



地球市民村



モロッコの民族舞踊